

「西成区模擬試験実施及び演習問題作成（中学校）業務委託」公募型企画プロポーザル質問・回答

令和7年12月24日（水）～令和8年1月13日（月）に受付けた質問につきまして、次のとおり回答します。

なお、質問は原文どおりでないこと、また、同様の質問があった場合は質問内容を一部省略させていただいておりますことをご了承ください。

番号	質問	回答
1	仕様書7項(4)において、再委託の承諾は原則として業務委託料の3分の1以内とされていますが、但し書きに「コンペ方式若しくはプロポーザル方式で受注者を選定したときは、この限りではない」との記載がございます。企画提案書において、より効果的な事業実施のために専門業者（システム業者や配送業者等）を活用し、結果として再委託額が委託料の3分の1を超える提案を行った場合、そのことのみをもって審査において不利になる、または要件不適合となることはありませんでしょうか。	再委託料が3分の1を超える業務内容で提案を行った場合でも、不適合となることはありません。 審査内容については、選定会議における選定委員の判断となりますのでお答えすることはできません。
2	仕様書7項(1)において「主たる部分」の再委託は禁止されていますが、本事業の遂行にあたり、デジタルドリルシステムの提供や、大量の答案処理を要する採点業務など、高度な専門性やリソースを要する工程が発生します。こうした工程において、当社が「仕様策定」「品質管理基準の決定」「進捗等の全体マネジメント」の責任を持って遂行することを前提に、当該実務（システムの提供・保守、採点実務等）を専門業者へ再委託することは可能でしょうか。	再委託を発注する場合は「仕様策定」「品質管理基準の決定」「進捗等の全体マネジメント」等のすべての責任を持つとともに、採点業務については情報漏洩防止のため再委託先に対して仕様書の3(3)アに記載している「採点作業について」を遵守するよう指導し、(ウ)研修の実施については、受注者は再委託先から報告書を提出させ、発注者に提出してください。
3	企画提案書の作成にあたり、再委託を予定している業務がある場合、提案書内には再委託予定先の具体的な「事業者名」まで記載する必要がありますか。あるいは、再委託する「業務内容」と「管理体制」の記述のみで足りるでしょうか。	再委託を予定している業務がある場合には「事業者名」「業務内容」「管理体制」等を提案書に記載し、事業者を特定できる箇所（事業者名等）については正本以外はマスキングの処理をして提出してください。
4	仕様書3項(4)イ(ア)において、紙媒体の演習問題は「3種類以上」作成すると記載されています。この「3種類」とは、生徒の学力レベル別（例：基礎・標準・応用）に3パターン作成するという理解でよろしいでしょうか。あるいは、単元別などの異なる切り口での3種類を想定されていますでしょうか。また、生徒個別の苦手分野に対応するため、生徒ごとに冊子の内容を組み替える（オンデマンド印刷等）必要までは無く、あらかじめ作成した3種類の冊子から最適な1冊を配布する形式でも仕様を満たすと考えでよろしいでしょうか。	紙媒体の演習問題は、苦手分野を復習できる内容で単元別など異なる切り口で3種類を想定しています。 生徒ごとに作成した演習問題以外の場合は、全教科3種類以上の演習問題を全生徒分納品してください。
5	テスト問題の出題形式について、「記述式の形式」を含めることとされていますが、記述式問題の出題数や配点割合について、具体的な目安や下限値（例：全配点の20%以上など）は設定されていますでしょうか。また、採点基準（部分点の扱いや、ゆらぎの許容範囲等）の策定は、受注者の提案に委ねられるものでしょうか。	テスト問題の出題形式や採点基準等については、募集要項 第1章1「事業の目的と概要」の趣旨に則り、事業者のもつノウハウや幅広い知識と経験、専門性を踏まえ、ご提案ください。
6	中学3年生実施分について、テスト納品（5月22日）から提出資料・演習問題納品（7月3日）までの期間が短期間となっております。学校行事等によりテスト実施日が6月上旬以降にずれ込んだ場合、あるいは解答用紙の回収が遅れた場合でも、7月3日の納品期限は厳守となるのでしょうか。不測の事態において、納品期限の延長協議は可能でしょうか。	仕様書の3(2)ウ(ウ)に記載している実施マニュアルの作成時にテストの解答用紙返却期日を調整します。原則、解答用紙返却期日から提出資料・演習問題の納品期日まで1か月の期間を設けますので7月3日の納品期限を厳守していただく必要があります。 ただし、学校の都合等により返却期日を過ぎた場合は、納品期日の延長協議をさせていただきます。
7	仕様書には「平均点を頂点として単峰型になるよう難易度のバランスに考慮すること」や「西成区採択教科書を使用していることに配慮したもの」との記載がございます。西成区の生徒の学力実態に即した適切な難易度および出題傾向の問題を作成するための参考資料として、過年度の模擬試験の問題冊子や結果データ（正答率分布等）をご提供いただくことは可能でしょうか。	テスト内容は、仕様書の3(2)イ「テスト問題」に基づき、仕様書別紙3「西成区で使用している教科書一覧」をもとに、事業者がもつノウハウや専門性を活かしてご提案いただきたいと思います。 また、テストの難易度は西成区の生徒の学力実態に即したものではなく、中学校の学力診断検査や高校入試の本番を想定したテストを作成してください。 過年度の模擬テスト問題や結果データについては、受託事業者のノウハウや著作権等に抵触することから提供することはできません。

8	<p>仕様書において、テスト実施日の決定や授業内での演習問題活用など、学校現場の深い関与が必要とされています。本事業の実施にあたり、対象中学校への事前周知や合意形成（授業時間確保等）は現時点でどの程度なされておりますでしょうか。また、契約締結後の学校への導入説明や、日々の実務的な連絡調整（資材配送・回収、質疑応答等）の窓口について、受託者が各校と直接行う形か、あるいは原則として貴区担当部署を経由する形か、想定されている連携体制をご教示ください。</p>	<p>テストの実施及び演習問題については校長会等で事前周知済みです。 テストや演習問題に関わることはすべて区担当者が各学校と調整を行います。 契約締結後の4月中旬から下旬ごろに学校向けの説明会を実施し、テスト実施期間や演習問題について説明します。</p>
9	<p>演習問題としてデジタルドリル（Webブラウザ版）を提案する場合、各学校の学習用端末で当該サービスを利用可能にするためのネットワーク設定（URLフィルタリングの解除等）について、教育委員会や各学校のICT担当者との調整は発注者側でサポートいただけるものでしょうか。あるいは、受託者が個別に技術的な調整を行う必要がありますでしょうか。</p>	<p>各学校の学習者用端末でデジタルドリル等を利用可能にするためのネットワーク設定は、4月に実施する説明会でICT担当教員に説明したのち各学校が対応します。 また、教育委員会事務局との調整は区担当者が対応します。</p>